



京都ビッグデータ活用プラットフォーム事業

一般社団法人 京都スマートシティ推進協議会



京都を、スマートシティ実践の「リーダー」に

京都スマートシティ推進協議会

MISSION

I C T等の最新技術を用いて、都市地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させるとともに、持続的に発展する新たな社会システムとイノベーションを創出し、スマートシティを実現することを目指す。

京都の環境をスマートに
京都のつながりをスマートに
京都の産業をスマートに



そのために

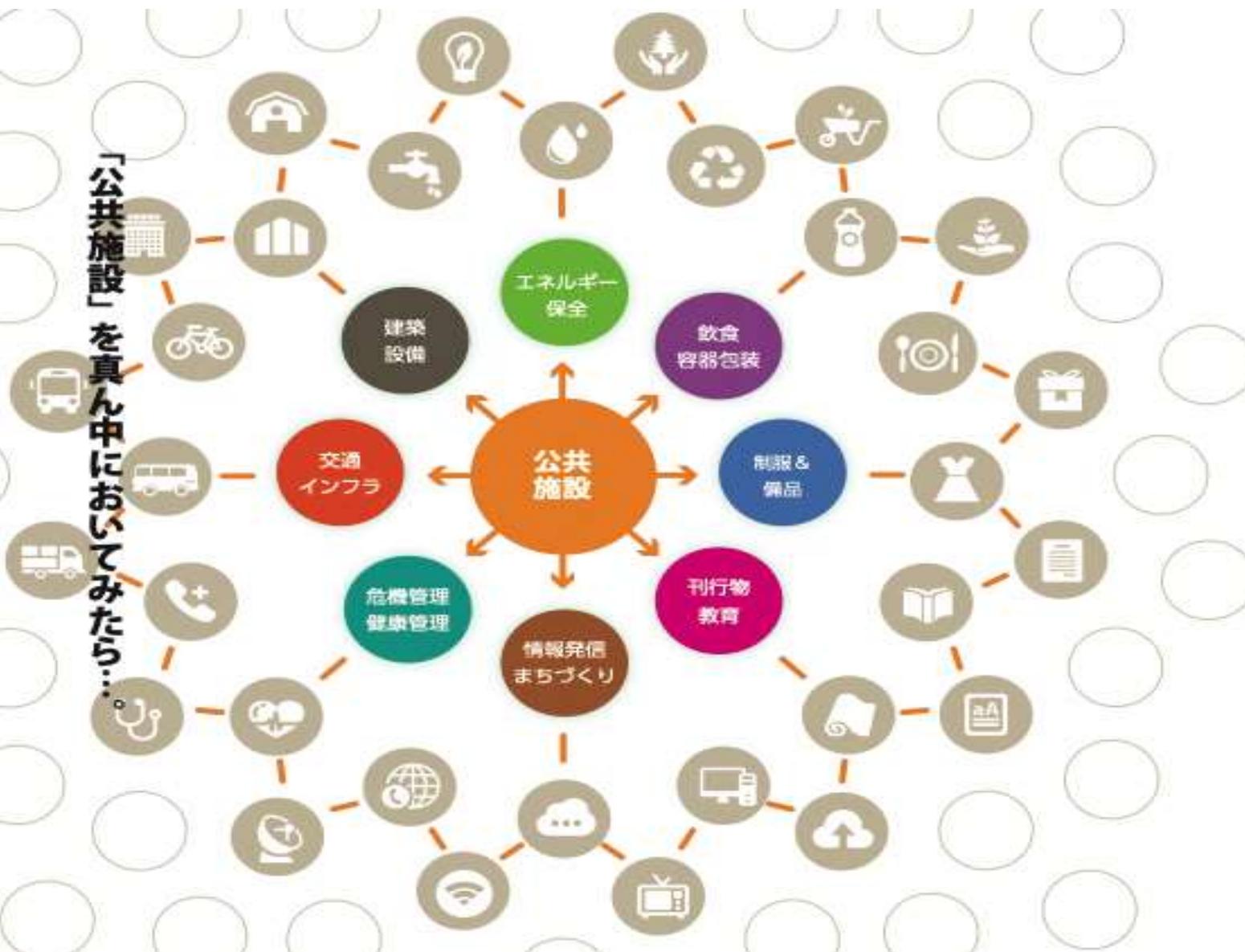


VISION

スマートシティ実現を目指す京都府と企業、府民をつなぐプラットフォームになること

公共は、あらゆる産業のバリューチェーンがつながりあうプラットフォーム

「公共施設」を真ん中においてみたら...

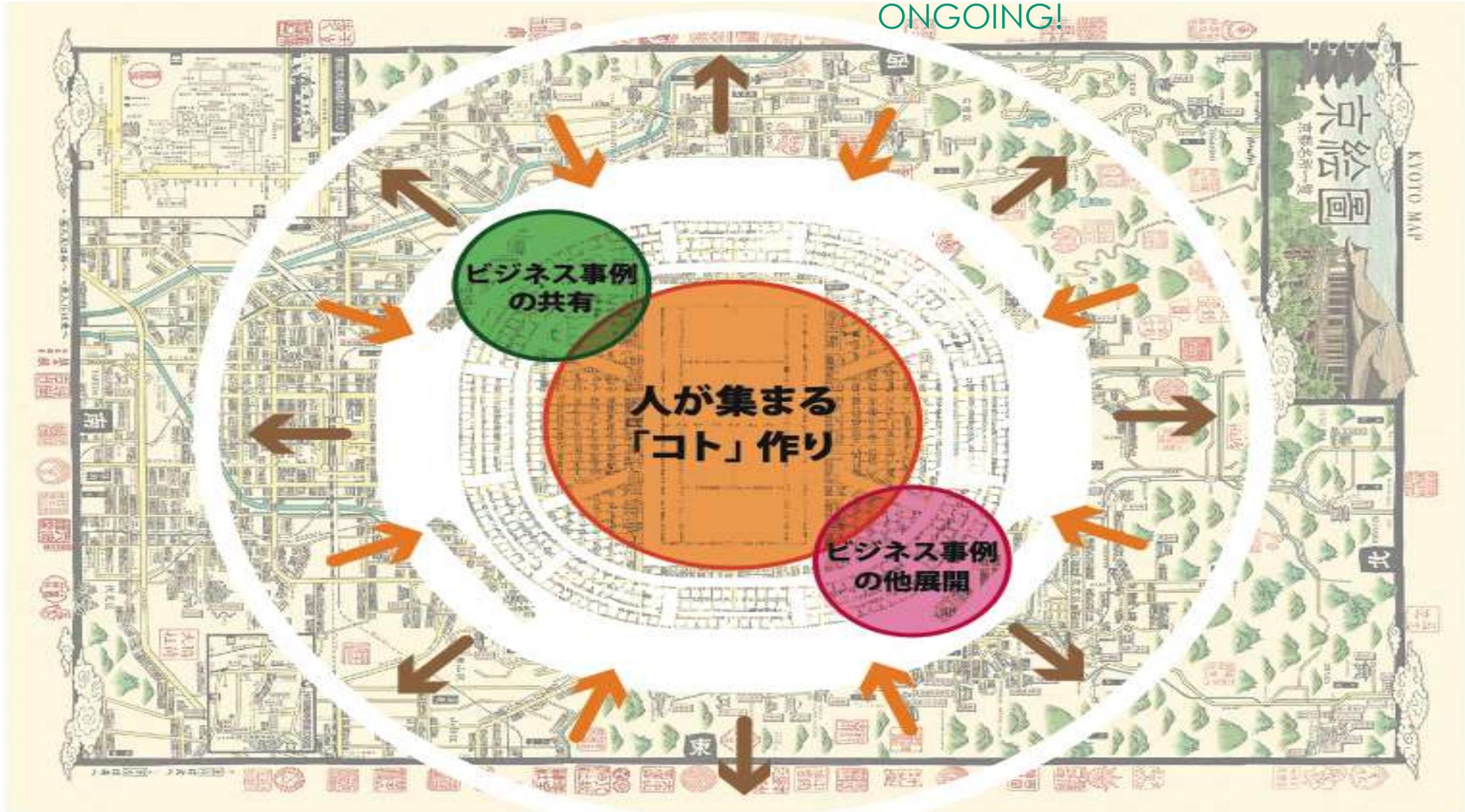


府下の様々なところに図書館、公民館、スポーツセンター、まちづくり施設、児童館、高齢者ケア施設、授産施設、といった公共施設、つまり市民のために行政が用意しているあらゆるハードは、地域のあらゆる産業を巻き込むことのできる可能性を秘めている。

この公共施設がSDGsに挑戦する意思を表し、その方策にICTを積極的に導入していこうとすれば、自ずからスマート技術は発展し、多くの府民に恩恵をもたらすことができる。

京都を、スマートシティ実践の「ショーケース」に

ONGOING!



事業内容詳細

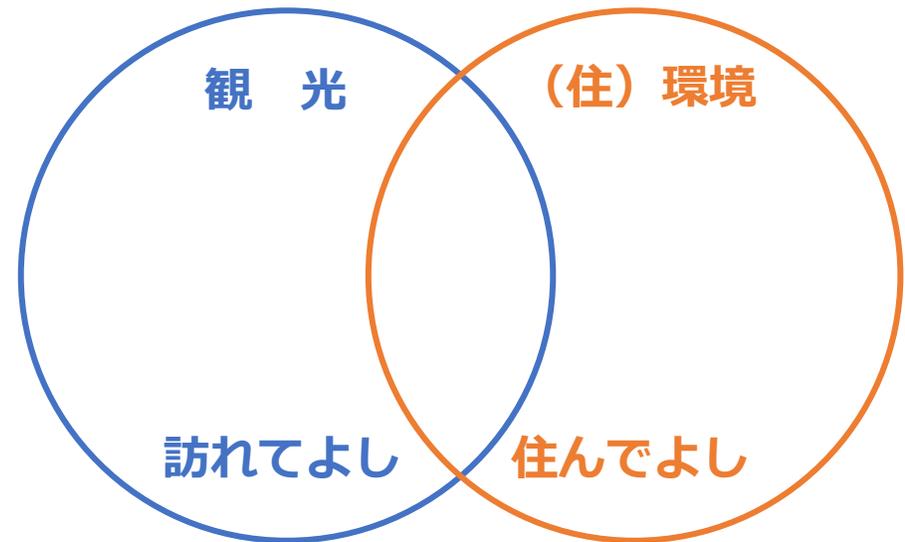
データ利活用型「スマートシティ京都」モデル構築事業

平成30年度総務省補助事業

「住んでよし、訪れてよし」の超快適スマート社会の創出

京都の基幹産業である**観光分野を軸にしたデータ利活用**の促進

1. サステナビリティが高く暮らしやすい
2. 京都の生活文化を観光キラーコンテンツ化
3. ICTやデータを活用したスマート社会の実現・新産業の創出

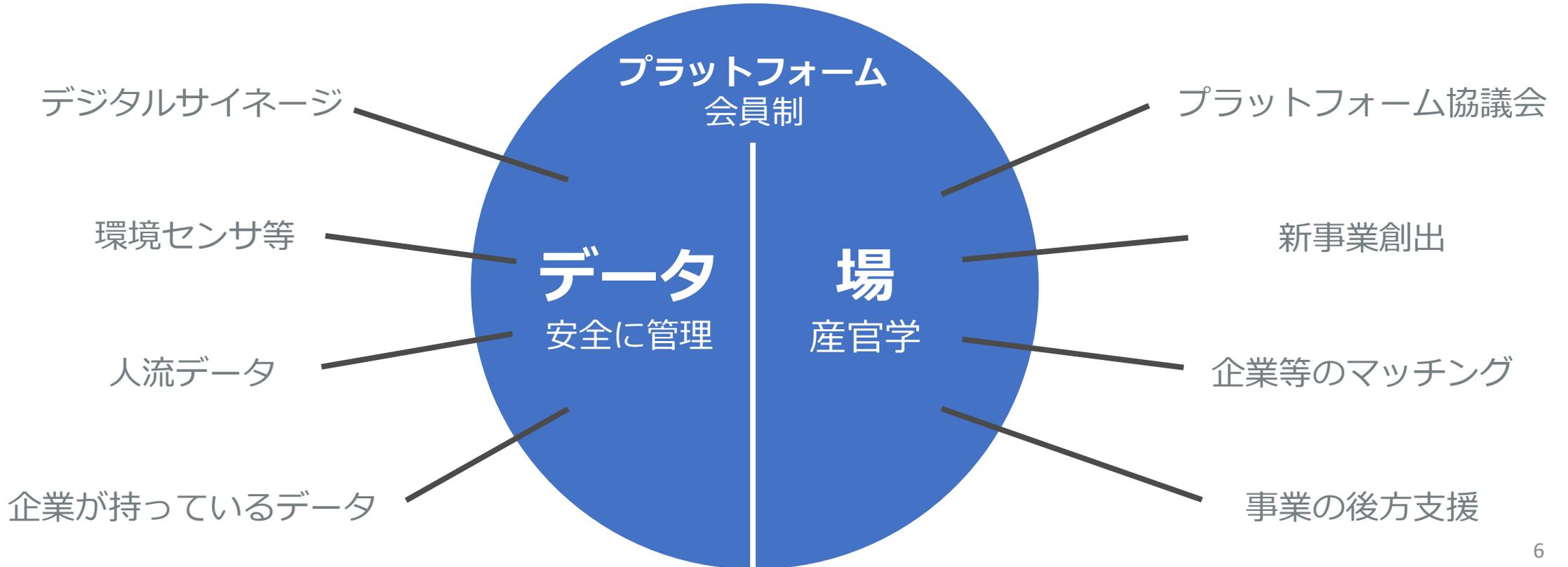


事業概要図

住んでよし、訪れてよしの京都を創る



観光等の新事業創出



FORMATION



デジタルサイネージ事業

デジタルサイネージ事業

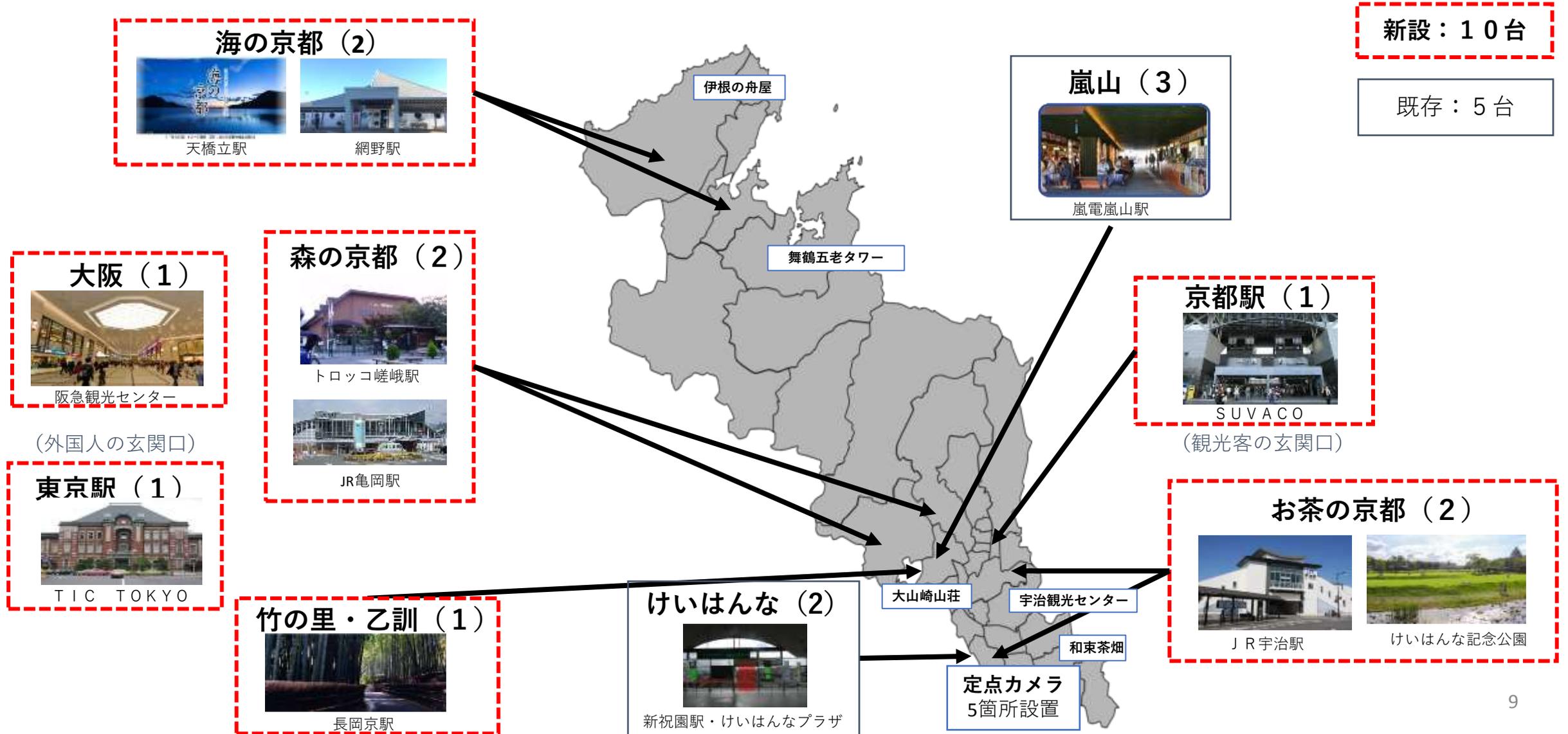
京都府の主要な観光玄関口や交通結節点にデジタルサイネージを新たに10台設置。スマホやSNS等と連携した次世代のインタラクティブサイネージ。一人一人のニーズに合わせた観光情報の提供により、国内外の観光客の利便性向上と周遊観光を促進。

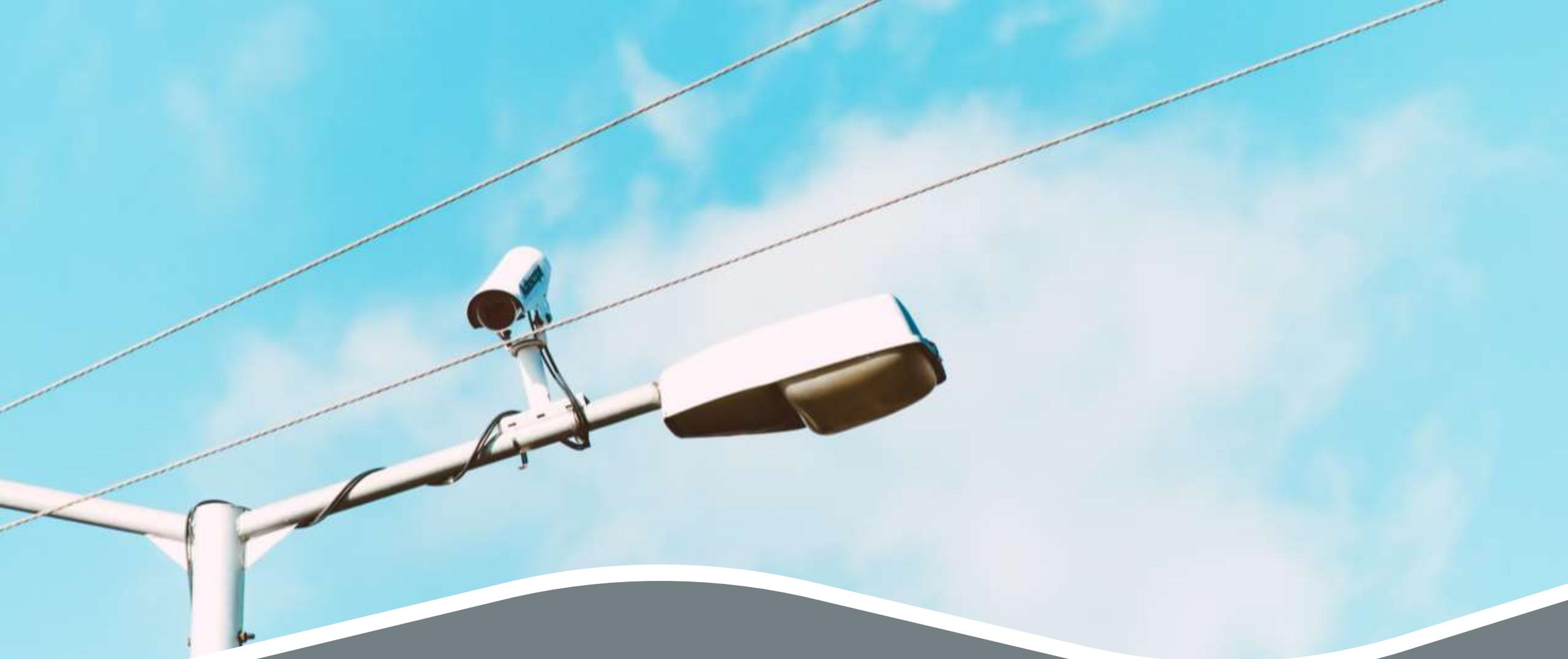
→サイネージを活用した様々な実証を展開

デジタルサイネージの主な機能



デジタルサイネージの府域展開図(2019.3月末現在)





公園スマート化事業

公園スマート化事業

公園内にスマートライトや環境センサーを設置。エネルギー消費や温度・湿度等の環境データを収集。サイネージやHP等で発信し、地域住民の環境学習や環境啓発活動に繋げる。

また、ネットワーク防犯カメラを設置し、映像による人流データの解析からトラブル発生の早期検知等を行い、地域住民、観光客が安心安全を感じるスマートな公園を目指す。

→公園をフィールドに様々な実証を展開

<スマートライト>

街灯に内蔵の機器で遠隔からコントロールし、消費電力データを収集



【環境】

遠隔での点灯時間、照度変更、調光による最適かつ効率的な照明環境

<環境センサー>

CO₂等の大気データなどの環境データをセンサーで取得



【環境】

CO₂など
環境の見える化

<ネットワーク防犯カメラ>

・映像から転倒や接触等のトラブルを検知
・カメラ映像から公園利用者数を把握。曜日、時間帯や天候状況別の人流データを測定



【安心安全】

事件や事故などの早期発見
トラブルの未然防止

公園スマート化事業エリア（嵐山公園中之島地区）



公園スマート化事業エリア（けいはんな記念公園）





データ基盤・人流データ

データ基盤・人流データ

- ・一社法人が用意するデータ

- 京都府内の人流データ
- その他

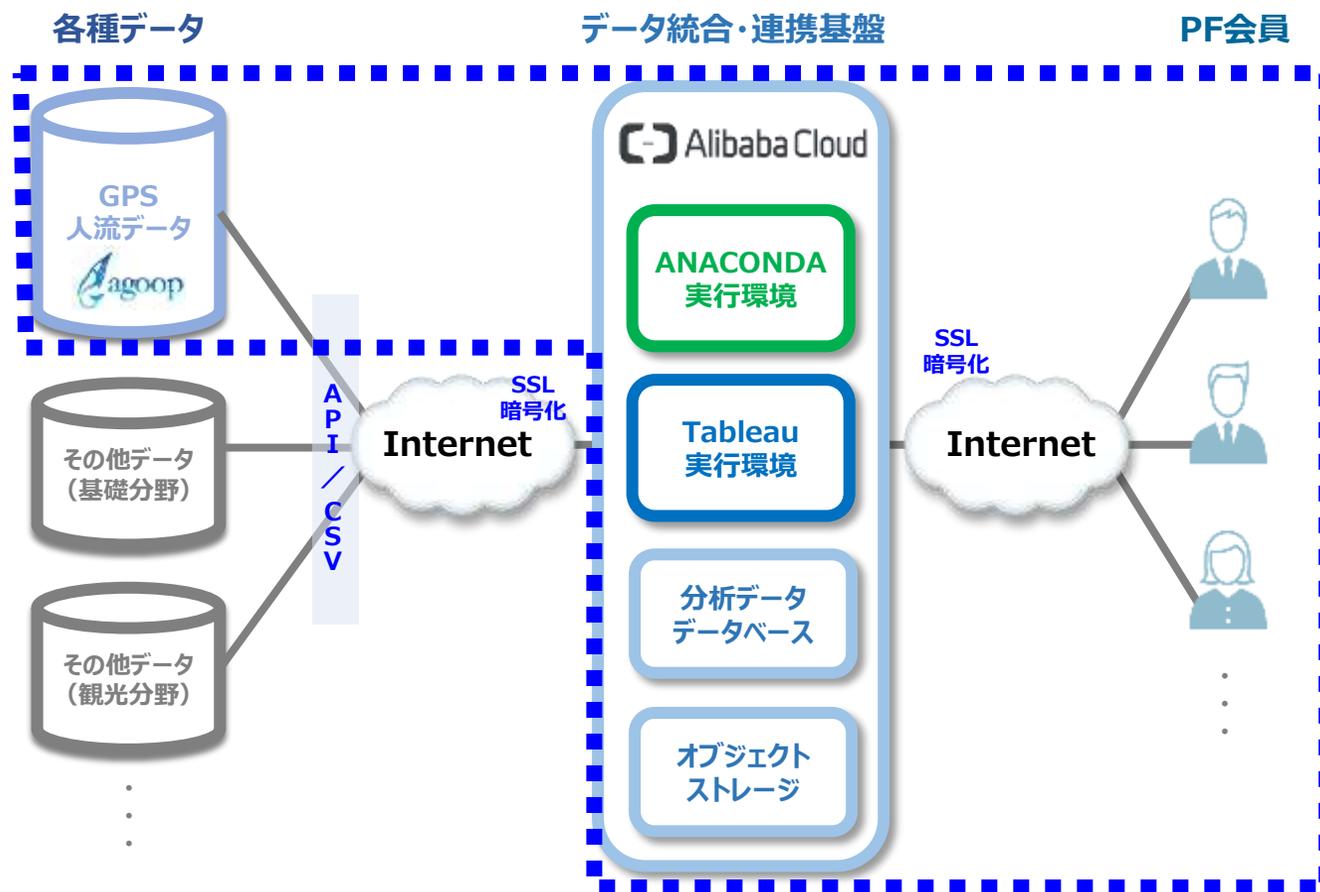
- ・企業同士のデータ連携

データアライアンスを組んだ企業同士のデータをプラットフォーム上で管理し、互いに活用する。

- ・データ利用環境の提供

- クラウド上でPythonを利用できる環境（Anaconda）
- データ分析ツール（tableau）

※有料



提供サービスと会費のご案内

1. プラットフォーム会議

年3-4回 スマートシティ事業の最新情報提供に
無料でご参加できます。

**各事業のアップデート、新たな取り組みの発表、
得た知見やノウハウのシェア
などを定期的に行います**



2. 情報交換会・分科会

年3-4回 スマートシティ事業推進の為の情報交換に
会員価格でご参加できます。

「データ」はある。

**何を測り、何を分析するか、それによりどのような
課題を解決するのか？を議論する場。**

・ 京都にはどんなデータが所在するのか？

- 京都府内の大学、研究機関、観光連盟、DMO、行政などのデータ紹介
- 実証実験フィールドとしての京都府関連施設の紹介
- 京都府の各部署・各地域が取り組んでいる課題の紹介 等

・ 海外の「スマートシティ」ビジネス事例とは何か？

- 世界の先駆的自治体・企業は何を測り、何の解決を目指しているか？
- 世界の先駆的自治体・企業とのネットワーク構築



分科会

会員様のニーズに応じて設定

分科会内容や経費に応じて価格決定（有料）

以下、分科会の例

会員様が分科会テーマを設定し、
参画会員を募る

データ分析勉強会（例）

観光課題解決分科会（例）

行政の課題解決分科会（例）



自社保有データ活用、
設定したい課題



データ分析の基礎とツールを学ぶ



観光客のさらなる増加への対応、
周辺観光地への誘導



行政データを活用、
安心・安全、交通弱者対策等の
行政課題解決

行政の課題解決分科会

地域の課題を抱えた行政と、課題解決につながるさまざま
シーズを持つ会員様をマッチングする分科会を開催

スマートセキュリティ 分科会

- AIやIOT技術を使って、地域の安心・安全につながる取組や防犯、防災対策について検討
- 第1回分科会
3月20日(水)14時～
京都市内で開催決定

スマートモビリティ 分科会

- 誰もが使いやすい交通手段として、スモール&スローな次世代型（ネクスト）モビリティを検討
- 第1回分科会
4月、京都市内で
開催予定

スマート農業 分科会

- 農業分野における担い手不足対策や作業の効率化につながる技術について検討
- 第1回分科会
4月以降、開催予定



3. パートナーリング

年1-2回程度 企業の新規事業紹介・交流の場に
会員価格でご参加できます。

**京都スマートシティ実現に貢献する
商品やサービス、技術を提供する国内外の
企業の事業紹介の機会を創出**

- **各種商品やサービス、技術を提供する企業を紹介**
 - スマートシティ実現に展開する事業の紹介
 - 取り組んでいるビジネス事例の紹介
 - 補助金、助成金の紹介、資金提供機関の紹介
- **関係者間のネットワーキング構築の支援**
 - 個別商談の場の提供
 - 懇親会の設営



4. 公共デジタルサイネージ

サイネージに割引でコンテンツ掲載
府内設置のデジタルサイネージからの
新しい持続可能社会実現へのコンテンツ
販売・企画開発プロジェクト

- ・ まちの新しいコミュニケーションの在り方を開発
 - 新たなコミュニケーション提案、新たな価値の企画開発
 - 公共インフラとして観光・防災・防犯的な役割など
 - 新たなコンテンツ作成に関心のある企業や団体をマッチング、企画開発支援
- ・ 広告主様のニーズに応じて柔軟にコンテンツ企画開発を支援
 - 広告出稿は有料となりますが、会員価格でご提供します
 - コンテンツ制作から出稿スタイルまでご予算に応じてベストなマッチングを図ります



5. データ利活用

企業や関係者間のデータ連携の支援、 データ利用環境の提供、適正な運営

- データ利活用の初期設定に負担なし（時間的・コスト的）
 - アカウント発行・管理
 - データアクセスコントロールを含む利用状況の管理
 - クラウド上でPythonやBIツールを利用可能 ※有料
- データを活用した実証実験の推進をサポート
 - サイネージやセンサーで取得されるデータを活用したモデル事業
 - スマートモビリティワーキング 等

```
!is_readable($temp_dir))) {  
  
    sys_get_temp_dir')) { // sys_get  
    accessible temp dir, e.g. with  
  
    // see https://github.com/JamesHe  
    dir');  
  
    // org/httpdocs/:/tmp/"  
    array('/', '\\'), DIRECTORY_SEPARAT  
    array('/', '\\'), DIRECTORY_SEPARAT  
    = DIRECTORY_SEPARATOR) {  
    ARATOR;  
  
    PARATOR, $open_basedir);  
    ir) {  
    DIRECTORY_SEPARATOR) {  
    ATOR;
```

6.事業の後方支援

事業推進支援

- **実証実験支援**
 - サイネージを使った実証実験
 - データを使った実証実験
 - LPWAや公園スマート化機器を使った実証実験 など
 - 補助金・助成金申請支援
- **行政機関との繋ぎ役**
(例)
 - 京都府
 - 府内市町村
 - 京都府観光連盟
 - 海・森・お茶の京都DMO
 - 京都府データサイエンスラボ 等



補助金等申請支援

本プラットフォーム会員同士が実施するプロジェクトに対し、京都府等の補助金申請について、助言、担当部署紹介等の支援をします。

※補助金獲得を約束するものではなく、審査は全ての応募者の中から公平に第三者機関が行います。

補助金等名称	主体団体	内容・条件	支援金額
企業の森・産学の森推進事業	公益財団法人 京都産業21	<ul style="list-style-type: none">・特定の分野やテーマにこだわらず、革新的な製品やビジネスモデルの開発等・事業グループ単位で応募（内1団体は、京都府の中小企業、大学であることが必要）	<ul style="list-style-type: none">①勉強会や可能性実証等120万円以内②事業トライアル 2,000万円以内③本格的事業展開 5,000万円以内 ※いずれも1/2補助
京都エコノミックガーデニング支援強化事業	公益財団法人 京都産業21	<ul style="list-style-type: none">・自社独自の強みを活かし、新サービス等の開発や新分野進出等を行う事業・京都府内に拠点を有する企業・推薦書があること	<ul style="list-style-type: none">①事業創生コース 100万円以内②事業化促進コース 1,000万円以内③本格的事業展開コース 3,000万円以内 ※いずれも1/2補助

※上表はH30年度の情報を抜粋したものです。H31年度の詳細は今後公開されたものをwebからご確認ください。

入会について（会費）（案）

会員種別	年会費(案) (税抜き)	対象者	便益
正会員（大企業）	20万円	中小企業の定義は、 中小企業基本法第2 条第1項の中小企業 者の範囲に従う	1. プラットフォーム会議への参加無 料（本協議会作成資料の無償利用 を含む） 2. 情報交換会・パートナーリングな ど各種イベントの案内 3. 公共デジタルサイネージへの広告 出稿基本料無料（広告掲載料は会 員価格にて割引） 4. 一社が用意したデータ利活用基盤 の基本利用料無料（BIツール等を オプション利用する場合は別途）
正会員（中小企業）	10万円		
正会員（小規模企業者）	3万円		
内、ベンチャー企業	1万円	設立後、3年以内	
特別会員	なし	行政機関・公共団 体・非営利団体等	

※ 事務的な手続き等は、当協議会のwebページに記載いたしますが、お気軽に当協議会事務局までお問い合わせください。

ベネフィット

1

**プラットフォーム会議へ
のご参加**

(年間3-4回程度)

- ・最新アップデート
- ・知見、ノウハウシェア

2

**情報交換会、パートナリ
ング等各種イベントのご
案内**

- ・企業紹介
- ・資金提供機関紹介
- ・ネットワーキング

3

**デジタルサイネージ・
データ利活用基盤利用**

会員価格

- ・府内のサイネージ出稿
基本料無し
- ・データ基盤基本料無し

問い合わせ先

※配布資料やHPにも記載ございます。

個別で話を聞きたいことや、今後についてご要望ご意見など
がありましたら、いつでもご連絡ください。

一般社団法人京都スマートシティ推進協議会

代表メールアドレス

info@smart-kyoto.or.jp